

◆第29回日本プロ音楽録音賞 受賞作品発表

2023年12月6日『音の日』にKANDA SQUARE HALLで開催された、第29回日本プロ音楽録音賞授賞式にて各部門の最優秀作品が発表された。以下に紹介する。

Best Sound部門 クラシック、ジャズ、フュージョン

応募作品 31 作品 (優秀賞 2 作品)

最優秀賞:「Ricordi Lontani」より「シャンブー」 Hikari Aoki avec Ron CARTER (Golden Striker Trio) 発売元: 株式会社ギザ 96kHz/24bit 2ch ミキシング&マスタリング・エンジニア: 川崎 義博 (フリーランス)

優秀賞:「ショスタコーヴィチ:交響曲第10番」より「ショスタコーヴィチ:交響曲第10番より第2楽章」 アレクサンドル・ラザレフ指揮 日本フィルハーモニー交響楽団 発売元: 日本フィルハーモニー交響楽団 96kHz/24bit 2ch ミキシング・エンジニア: 塩澤 利安 (日本コロムビア株式会社) マスタリング・エンジニア: 佐藤 洋 (日本コロムビア株式会社) アシスタント・エンジニア: 久志本 恵里 (日本コロムビア株式会社)

Best Sound部門 ポップス、歌謡曲

応募作品 36 作品 (優秀賞 2 作品)

最優秀賞:「東京 Longing」 krage 発売元: 株式会社ソニー・ミュージックレーベルズ 48kHz/24bit 2ch ミキシング・エンジニア: 房野 哲士 (株式会社ソニー・ミュージックソリューションズ) マスタリング・エンジニア: 森崎 雅人 (有限会社タイニーボイスプロダクション)

優秀賞:「Transcend」(TECE-3697)より「人間模様」 石川さゆり 発売元: 株式会社テイチクエンタテインメント

※ラッカーマスターサウンドにより制作のCD作品

マスタリング・エンジニア: 菊地 功 株式会社ミキサーズラボ ワーナーミュージック・マスタリング ミキシング・エンジニア: 内沼 映二 株式会社ミキサーズラボ カutting・エンジニア: 加藤 拓也 株式会社ミキサーズラボ ワーナーミュージック・マスタリング

Super Master Sound部門 応募作品 3 作品 (優秀賞 1 作品)

優秀賞:「Transcend」(SSMS-066)より「風の盆恋歌」 石川さゆり 発売元: 株式会社テイチクエンタテインメント SACD 2ch ミキシング・エンジニア: 内沼 映二 (株式会社ミキサーズラボ) スーパーバイザー: 原田 知幸 (株式会社ステレオサウンド)

Immersive部門 応募作品 13 作品 (優秀賞 2 作品)

Immersive部門 (プログラミング・サウンド)

最優秀賞: 4th シングル「Mainstream」より「SOS」BE: FIRST 発売元: エイベックス・ミュージック・クリエイティヴ株式会社 360 Reality Audio ミキシング・エンジニア: 當麻 拓美 (株式会社山麓丸) アシスタント・エンジニア: 鳥越 裕史 (株式会社山麓丸)

Immersive部門 (アコースティック・サウンド)

最優秀賞:「Beautiful Dreamer」tea 発売元: 有限会社スーパー

ボーイ 360 Reality Audio ミキシング・エンジニア: 高田 英男 (株式会社ミキサーズラボ) アシスタント・エンジニア: 宮嶋 萌里 (株式会社ミキサーズラボ)

アナログディスク部門

応募作品 13 作品 (優秀賞 2 作品)

最優秀賞:「Transcend Extra edition」(SSAR-093~094)より「ウ

ィスキーが、お好きでしょ」 石川さゆり 発売元: 株式会社テイチクエンタテインメント 30cm 45 回転カutting・エンジニア: 北村 勝敏 (株式会社ミキサーズラボ ワーナーミュージック・マスタリング) ミキシング・エンジニア: 内沼 映二 (株式会社ミキサーズラボ) カutting・スタジオ: 株式会社ミキサーズラボ ワーナーミュージック・マスタリング

優秀賞:「I Love You」(SSAR-091~092)より「素敵あなた」 オフコース 発売元: ユニバーサル ミュージック合同会社 30cm 45 回転 カutting・エンジニア: 松下 真也 (PICCOLO AUDIO WORKS) カutting・スタジオ: PICCOLO AUDIO WORKS

カutting・スタジオ賞

株式会社ミキサーズラボ ワーナーミュージック・マスタリング 「Transcend Extra edition」(SSAR-093~094)より「ウィスキーが、お好きでしょ」 石川さゆり 発売元: 株式会社テイチクエンタテインメント 30cm 45 回転

スタジオ賞 株式会社山麓丸 (山麓丸スタジオ)

「SOS」BE: FIRST 発売元: エイベックス・ミュージック・クリエイティヴ株式会社 360 Reality Audio 株式会社サウンド・シティ tutumu

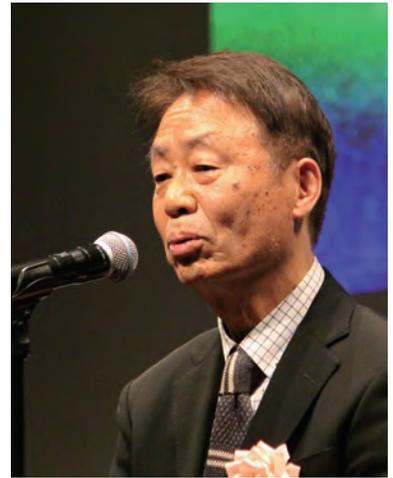
「Beautiful Dreamer」tea 発売元: 有限会社スーパーボーイ 360 Reality Audio

ニュー・プロミネント賞

房野 哲士 (株式会社ソニー・ミュージックソリューションズ) 當麻 拓美 (株式会社山麓丸)

放送部門 2ch ステレオ 応募作品 15 作品 (優秀賞 3 作品)

最優秀賞:「BUMP OF CHICKEN 18 祭 1000 人のここから」より「窓の中から」BUMP OF CHICKEN、18 歳から 20 歳の若者 1000 人 日本放送協会 HDTV stereo 2023 年 3 月 31 日 放送 ミキシング・エンジニア: 佐藤 陽介 (日本放送協会) セカ



運営委員長 高田会長挨拶



第29回日本プロ音楽録音賞授賞式2023-受賞者集合写真

サウンド・エンジニア：遠藤 美紀（日本放送協会） セカンド・エンジニア：宮下 真理子（株式会社 SCL）

優秀賞：「サントリー 1万人の第九 2022 / LIFE is Symphony 歌って、世界中を幸せにしよう。」より

「LIFE is SYMPHONY ベートーヴェン 交響曲第九番二短調 作品 125 第 1 楽章から第 3 楽章」 佐渡裕、布袋寅泰、角野隼斗、1万人の第九オーケストラ他（毎日放送 HDTV stereo 2022年 12月 17日放送） ミキシング・エンジニア：田中 聖二（株式会社毎日放送） セカンド・エンジニア：大谷 紗代（株式会社毎日放送） セカンド・エンジニア：東 光信（株式会社サウンドエースプロダクション）

優秀賞：「六本松サテライト FES 2023 春」より「壊れかけの Radio」 徳永英明（日本放送協会 HDTV stereo 2023年 3月 24日放送） ミキシング・エンジニア：清川 愛珠（日本放送協会福岡放送局） セカンド・エンジニア：高橋 英明（日本放送協会福岡放送局）

フロア・チーフ：平原 康裕（日本放送協会 福岡放送局）

放送部門 マルチch サラウンド 応募作品 8 作品（優秀賞 2 作品）

最優秀賞：「クラシック音楽館 / ファビオ・ルイージ首席指揮者就

任記念コンサート」より 「作曲：ベートーベン 曲目：バイオリン協奏曲 二長調」 指揮：ファビオ・ルイージ 演奏：ジェームズ・エーネス (Vn) NHK 交響楽団（日本放送協会 HDTV 5.0ch 2022年 10月 16日放送） ミキシング・エンジニア：島崎 砂

生（日本放送協会） セカンド・エンジニア：前川 陽州（日本放送協会） アシスタント・エンジニア：矢鳥 諭（株式会社 ネオテック）

優秀賞「プレミアムシアター / 東京二期会「天国と地獄」より「オペレッタ「天国と地獄」第二幕 二場より」 出演：渡邊公威 湯浅桃子 他 合唱：二期会合唱団 管弦楽：東京フィルハーモニー交響楽団 指揮：原田慶太楼（日本放送協会 HDTV 5.0ch 2023年 1月 15日放送） ミキシング・エンジニア：矢鳥 諭（株式会社 ネオテック） セカンド・エンジニア：船津 龍人（日本放送協会） アシスタント・エンジニア：寺戸 葉菜（株式会社 ネオテック）

ベストパーフォーマー賞

「凛-RIN-」(POUR-1009)より「AMESA for Two Pianos」(Best Sound 部門 (クラシック、ジャズ、フュージョン)) アーティスト：安田美充央 石井彰（発売元：ブルクワレーベル CD）



◆アイスランドの国営放送局 RÚV が新しい Avid | Stream IO で制作能力をアップグレード

複数年の契約により、放送局はメディア制作のニーズに対応した次世代のインジェスト&プレイアウト・ソリューションを提供

Avid® は、アイスランドの国営放送局 RÚV と複数年にわたるサブスクリプション契約を締結し、同社のサーバー・プラットフォームを Avid の新しいインジェストおよびプレイアウト・ソリューションである Avid | Stream IO™ にアップグレードした。

Avid | Stream IO は、ニュース、スポーツ、ライブ・エンターテインメント、その他の TV コンテンツの制作インジェストとプレイアウトのためのソフトウェアベースのソリューションを RÚV に提供する。「我々は RÚV との長年のパートナーシップを誇りに思っており、彼らが我々とともに革新を続けてくれていることを嬉しく思っています。Avid | Stream IO に移行することで、比類のないスピード、適応性の高いメディア・フォーマットのサポート、柔軟な導入が可能になります。」 Tom Cordiner, Avid 最高収益責任者 (CRO)

「Avid | Stream IO へのアップグレードは、私たちにとって簡単な決断でした。レガシー・サーバーを置き換える必要がありましたが、1080p50 を含む HD よりも高い解像度でインジェストする機能も必要でした。」 Bragi Reynisson, RÚV 最高技術責任者 (CTO)

Avid | Stream IO は、ニュース、スポーツ、ライブ・エンターテインメント、その他の TV コンテンツの制作インジェストとプレイアウトのためのソフトウェアベースのソリューションを RÚV に提供する。アイスランドの国営公共放送局 RÚV は、リニアとノンリニアのテレビとラジオを全国に放送しています。RÚV の Bragi Reynisson 最高技術責任者は説明します。「Avid | Stream IO へのアップグレードは、私たちにとって簡単な決断でした。レガシー・サーバーを置き換える必要がありましたが、1080p50 を含む HD よりも高い解像度でインジェストする機能も必要でした。」

「既存の Avid MediaCentral™ 制作環境への追加として、Avid | Stream IO は、標準的な HD 解像度と、1080p50 を含む AVC イントラとしての高画質解像度の両方を取り込み、再生する柔軟性を与えてくれます。Avid の制作環境全体に簡単に統合でき、インフラストラクチャの可能な限り多くをプライベート・クラウドに仮想化するという戦略をサポートしてくれます。」

Avid 最高収益責任者の Tom Cordiner が補足します。「RÚV とは長年にわたってパートナーシップを結んでおり、彼らが我々とともに革

新を続けてくれていることを誇りに思います。Avid | Stream IO に移行することで、比類のないスピード、適応性の高いメディア・フォーマットのサポート、柔軟な導入が可能になります。」

Avid | Stream IO により IP ストリームや SDI ストリームの取り込みや再生に設定可能な柔軟なアーキテクチャを採用したことで、RÚV のプロダクション・チームは、レガシー・ワークフローやオンプレミス導入から、クラウドや IP ワークフローへ、それぞれのペースで移行できるようになります。また、異なるインジェスト・ソースを 1 つのコンフィギュレーションにまとめることで、効率を高めることもできる。

ライブ・エンターテインメントやマルチカメラ・プロダクションに最適な Avid | Stream IO は、一般的なプロダクション・フォーマットをすべてサポート、SDI を含む。圧縮 IP ストリーム SRT/RTMP は間もなく登場、NDI、そして SMPTE 2110 が来年後半に続く予定です。次世代製品として、Avid | Stream IO は、Avid の実績あるハードウェアベースのサーバー・ソリューション、AirSpeed® および FastServe® のすべての機能を提供します。同時に、4K や HDR といった新たな IP 規格やより高精度なフォーマットのサポートを拡大する。

また、Avid | Stream IO は、Avid の実績ある高速ワークフローをサポートし、RÚV の既存のメディア・ワークフロー・プラットフォーム MediaCentral のサブスクリプション契約と緊密に統合することで、制作の中断を最小限に抑えます。MediaCentral は業界で最も包括的なメディア・ワークフロー・プラットフォームで、あらゆる場所からのコラボレーションを可能にし、コンテンツのターンアラウンドを加速します。Avid MediaCentral の一連のツールは、制作ワークフロー全体を合理化し、分散しているチームがより優れたコンテンツを迅速に作成し、より多くのメディアやデバイスに配信し、ユーザーのメディアの価値を最大限に高めることができます。

詳しくはこちらを

www.avid.com/products/avid-stream-io

www.avid.com/products/mediacentral

お問い合わせはこちら

TEL 03-3518-6273 E-mail sales@photron.co.jp

営業時間 9:00 ~ 18:00 (土曜・日曜・祝日、当社指定の休業日を除く) フォトロン 公式 Twitter

フォトロン YouTube 公式チャンネル

◆キャノンマーケティングジャパン：環境省と「国立公園オフィシャルパートナーシップ」を締結



国立公園 オフィシャルパートナー



伊藤信太郎環境大臣（左）とキャノン MJ 上席執行役員 松本裕之

キャノンマーケティングジャパン株式会社（代表取締役社長：足立正親、以下キャノン MJ）は、環境省と「国立公園オフィシャルパートナーシップ」を締結した。国立公園の魅力を発信し、地域活性化に貢献する。

「国立公園オフィシャルパートナーシップ」は、環境省と企業・団体が相互に協力し、国立公園の魅力を発信し、国立公園利用者の拡大を図ることで、人々の環境保全への理解を深めるとともに、国立公園の所在する地域の活性化につなげる取り組み。

キャノン MJ グループは、キャノングループが掲げる企業理念「共生」のもと、サステナビリティ経営を推進しています。持続可能な社会の実現に向け、「キャノン MJ グループ環境ビジョン 2050」および中間目標である「キャノン MJ グループ 2030 年中期環境目標」を策定し取り組んでおり、この度、環境省の主旨に賛同し、国立公園の魅力発信などに寄与するべく、パートナーシップを締結した。

具体的な施策として「国立公園×PowerShot ZOOM」特設サイトを創設した。キャノン製ポケットサイズの望遠鏡型カメラ「PowerShot ZOOM」を各国立公園レンジャー（自然保護官）に貸し出し、レンジャー自身が撮影した写真とともに、各国立公園の魅力や保全の取り組みを発信します。また、キャノン MJ 公式 SNS にて国立公園での撮影のポイントやマナー啓発などの発信も実施する。

2023 年 12 月 21 日に伊藤信太郎環境大臣出席のもと開催された締結式には、キャノン MJ 上席執行役員 松本裕之も出席した。第 12 回を迎えた締結式には、パートナー 8 企業・団体が参加し、今回をもって全 137 の企業、団体がオフィシャルパートナーとなっている。

日本全国でお客さまの課題解決に取り組むキャノン MJ グループは、国立公園の魅力発信を通して環境保全への理解促進を図り、地域の活性化に貢献していくとしている。

〈国立公園×PowerShot ZOOM 特設サイト〉

1. 活動概要

- 目的 日本の傑出した自然の風景地であり、生物多様性保全の屋台骨である国立公園について、環境省の取り組みと連携・協力し、キャノンのデジタルカメラ関連製品の提供や Web サイトでの情報発信などを通して、その自然環境の保全や魅力発信に貢献する。

- 取組内容 「PowerShot ZOOM」を国立公園レンジャーに貸し出し、撮影した画像を中心に各国立公園の魅力や保全の取り組みを PowerShot ZOOM スペシャルサイト内の特設サイトで発信する。
特設サイト：canon.jp/pszoom-nationalpark

- 対象 日本国内の国立公園



2. PowerShot ZOOM

「撮れる、望遠鏡。」をコンセプトとした写真と動画が撮れるポケットサイズの望遠鏡型カメラです。スポーツ観戦から自然観察、旅行、レジャー、日常まで、近くで見たい“遠く”をいつでもものぞける、そのまま撮れる新しいスタイルのカメラです。



◆パナソニック コネクト：中部国際空港島及び周辺地域の周遊性向上に向けて顔認証システムを活用した実証実験を実施

URL：<https://news.panasonic.com/jp/press/jn231227-1>

パナソニック コネクト株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役 執行役員 プレジデント・CEO：樋口 泰行、以下「パナソニック コネクト」）は、2024年1月15日～3月15日に中部国際空港島及び周辺地域（以下「当該エリア」）の商業・観光施設等で顔認証システムを活用した決済や施設入場、スタンプラリーの実証実験を実施する。本実証実験は愛知県が推進する「あいちデジタルアイランドプロジェクト」^{（※1）}の一環として行う。

1. 背景と目的

愛知県では、当該エリアを、デジタル技術を活用したオープンインベーションフィールドに位置付け、2030年に世の中での普及が見込まれる近未来の事業・サービスを先行して実用化することを目指す「あいちデジタルアイランドプロジェクト」を推進。

顔認証技術は、買い物や飲食の決済、施設への入退場、モビリティへの乗車など様々な場面で、圧倒的な快適性や利便性を実現する可能性があります。当該エリアの課題の一つとして、来訪者が特定の目的施設にのみ立ち寄って帰る傾向があり、消費増やリピート来訪につながりにくいという点が挙げられる。

そこで本実証実験では、手ぶらで周遊できる顔認証システムを活用して、来訪者の利便性と快適性を高めることで、満足度の向上やより多くの施設や名所等の認知向上につなげ、集客や周遊性向上の実現を目指します。将来的に、当該エリアにおける顔認証技術の普及を目指す。

パナソニック コネクトは本実証実験において、世界最高水準^{（※2）}の技術を活用した顔認証クラウドサービス「KPAS クラウド」を活用し、事前に登録した顔情報による、複数の商業・観光施設における決済や、愛知県国際展示場（常滑市）で開催される産業展示会「SMART MANUFACTURING SUMMIT BY GLOBAL INDUSTRIE（以下「SMS」）」への入場などを検証する。加えて、住民や旅行者に向けた顔認証システムを使ったスタンプラリーを開催し、利用者の顔認証技術に対する理解や、施設・店舗の将来的な導入に向けた理解の促進を図ります^{（※3）}。

2. 実証実験の概要

- ・期間：2024年1月15日（月）～3月15日（金）
- ・場所：中部国際空港島及び周辺地域
- ・参加方法：利用者は、事前に専用 Web ページ（<https://stampラリー.digital/aichi-digitalisland>）よりスマートフォンを用いて参加登録を行い、顔画像と、クレジットカード情報などの本人情報を登録する。

この登録により、対象施設における会計時の顔認証決済^{（※4）}や、スタンプラリーにおける顔認証によるスタンプ取得が可能。また、2024年3月13日（水）～15日（金）に愛知県国際展示場で開催予定の展示会（SMS）の参加者のうち、本スタンプラリーへの登録者は展示会への顔認証入場が可能になる^{（※5）}。

- ・顔認証システムおよび使用機器：顔認証クラウドサービス「KPAS クラウド」

パナソニック コネクトは今後、当該エリアで共用利用できるスマートな顔認証インフラの提供を通じて、快適性や利便性の向上を通じた、満足度と周遊性の向上実現に向けて貢献するとしている。

- ※1 愛知県「あいちデジタルアイランドプロジェクト」
<https://www.pref.aichi.jp/site/aichi-digital-island-pj/>
- ※2 2022年11月6日に公開されたNIST（米国国立標準技術研究所）の「FRVT 1：1」評価レポートにおいて、Mugshot（人種・経年変化を含む正面顔データ、他人受入率：10万分の1）で世界1位を獲得しました。同時に Border（顔向き・照明変動を含むデータ、他人受入率：10万分の1）で世界4位、KIOSK（下向き・見切れデータ、他人受入率：10万分の1）でも世界5位にランクインするなど世界最高水準の評価結果を得ております。
- ※3 対象施設毎に、利用可能なサービスが異なります。詳細は概要表をご参照ください。
- ※4 顔認証決済への対応は、一部参加施設のみとなります。詳細は概要表をご参照ください。
- ※5 SMS への参加登録は別途必要であり、SMS への参加登録情報と顔情報との紐づけを、本実証実験の専用 Web ページ上で行う必要があります。

■パナソニック コネクトの顔認証技術について

パナソニック コネクトの顔認証は、40年以上に渡るカメラの画像処理で培った画像を鮮明にする技術と、顔の特徴を学習するディープラーニング技術の応用により、NIST（米国国立標準技術研究所）の顔認証ベンチマークテスト（NIST FRVT 1：1）において、世界1位^{（※2）}の評価を獲得しました。顔の向きや経年変化、メガネ・マスクなどにも影響されにくく、快適にご利用いただけます。これまでも空港での厳格かつ円滑な本人確認や、アミューズメントパークでのチケットレス入退場、店舗でのキャッシュレス決済、オフィスでのICカードレス入退場などで、顔認証技術を応用したシステムを展開してきており、1日30万回超の固有の顔認証を達成してきた（パナソニック コネクト調べ）。今後も、世界最高水準の顔認証技術と、現場での使いやすさを追求し、お客様との実証実験を重ねて実現したUX デザインとの融合により、さまざまな現場を安心・安全かつ効率化することに貢献して行くとしている。

▼パナソニック コネクトの顔認証ソリューションについて

https://connect.panasonic.com/jp-ja/products-services_facial-recognition

▼顔認証クラウドサービス「KPAS クラウド」

https://connect.panasonic.com/jp-ja/products-services_facial-recognition-cloud-service

【パナソニック コネクト株式会社について】

パナソニック コネクト株式会社は2022年4月1日、パナソニックグループの事業会社制への移行に伴い発足した、B2Bソリューションの中核を担う事業会社です。グローバルで約29,500名の従業員を擁し、売上高は1兆1,257億円（2022年度）を計上しています。「現場から社会を動かし 未来へつなぐ」をパーパス（企業としての存在意義）として掲げ、製造業100年の知見とソフトウェアを組み合わせたソリューションや高度に差別化されたハードウェアの提供を通じて、サプライチェーン、公共サービス、生活インフラ、エンターテインメント分野のお客様をつなぎ、「現場」をイノベートすることに取り組んでいます。また、人と自然が共存できる豊かな社会・地球の「サステナビリティ」と、一人ひとりが生きがいを感じ、安心安全で幸せに暮らすことができる「ウェルビーイング」の実現を目指しています。

■人権の尊重と企業価値の向上に向けて

パナソニック コネクトは、「人権の尊重」と「企業価値の向上」を目的に、DEI（Diversity, Equity & Inclusion）推進を経営戦略の柱のひとつと位置づけ、多様な価値観を持つ一人ひとりがイキイキと力を発揮できる柔軟性の高いカルチャーを目指しています。「少数であること」やその他の理由で権利が守られていない状況に対しては、妥協できない「人権」の問題として取り組みます。例えば、2016年、国内の人事制度運用上の配偶者に「（同性婚も含む）事実婚を結婚したものと同等に取り扱う」ことを発信するなど、家族の在り方の多様化に対応しています。